



ユーザーズ・マニュアル

目次：

一、はじめに	
製品の紹介.....	ページ 2
包装内容.....	ページ 2
製品の特性.....	ページ 2
拭き掃除.....	ページ 3
注意事項.....	ページ 3-4
二、使用説明	
OSD ボタン.....	ページ 5
OSD 使用画面の説明.....	ページ 6-9
三、信号コネクタとコネクタの説明	
入力の説明.....	ページ 10
セットアップの説明.....	ページ 11
四、旋廻角度.....	ページ 12
五、製品規格表.....	ページ 13
六、ディスプレイ・モード.....	ページ 14
七、製品保証の説明.....	ページ 15
八、安全にお使いいただくために必ずお守り下さい.....	ページ 16-19

一. はじめに

製品の紹介

LCD 液晶モニターをお求めいただき有難うございます。

本製品は全く新しい技術の 15 インチ・カラー・アクティブ・マトリック TFT 液晶ディスプレイを採用しています。またプラグ&プレイができ、最新の OSD コントロール機能やマルチメディア用スピーカーを備えており、より快適な感覚を提供できるように企画発しました。

どうぞ本製品の特性をお楽しみください！

包装内容

- | | |
|---------------------|-------|
| ● 15 インチ TFT 液晶モニター | 1 台 |
| ● D-SUB 15 ピン信号ケーブル | 1 本 |
| ● サウンド・ケーブル | 1 本 |
| ● 電源コード | 1 本 |
| ● 変圧器 | 1 セット |
| ● ユーザーズ・マニュアル (CD) | 1 枚 |
| ● クイックスタートガイド | 1 枚 |

製品の特性

- 高コントラスト・カラーTFT 液晶モニターで XGA 1024 x 768 の解像度をサポート。
- IBM VGA、IBM XGA、及び Macintosh デ스플레이 標準を互換。
- マルチ・メディア・スピーカー・システムを内蔵。
- VESA DPMS 国際節電規格に準拠。
- DDC 1/2 及び Windows P&P のプラグ&プレイ機能をサポート。
- 先進 OSD 機能で画面を最良のディスプレイ状態に調整。

拭き掃除の注意事項

1. LCDスクリーンの埃や汚れを拭き取る時は柔らかい布を使用してください。
2. また強く押し付けないようにしてください。
3. 水、その他化学薬剤を使用して LCD スクリーンを拭かないでください。水、化学薬剤は LCD スクリーン表面を損傷する恐れがあります。

注意事項

本製品を使用する前に下記注意事項をお読みの後、保存しておいてください。
本製品を使用する時は下記の事項をお守りください。

製品

1. 熱の発散が妨げられますので、ケース背面の熱発散孔を覆ったり塞いだりしないでください。
2. 鋭利な物や金属或は水を信号コネクタや熱発散孔に差込んだり流したりしないでください。回路がショートしたり製品が破損する恐れがあります。
3. 長時間使用しない時は、電源コードを電源から抜いてください。
4. ご自身で本製品を分解しないでください。分解すると製品を破損し、人体に傷を受ける恐れがあります。また分解すると保証は無効になります。
5. 指で直接スクリーン表面に触れないでください。スクリーン表面を損傷する恐れがあります。また指先の油がスクリーン表面に附着した場合、除去が困難になることがあります。
6. LCDスクリーンに圧力を加えないでください。スクリーンは非常に精密でデリケート（脆い）性質のものです。

電源

1. 製品の破損を防止する為、メーカー指定の専用変圧器を使用してください。

プラグ

1. プラグにあるアース線コネクタを取除かないでください。
2. 下記状況の時は本製品の電源コードを引抜いておいてください。
 - 長時間使用しない時。
 - 電源コード或は電源ソケット/プラグが破損した時。
 - 本ユーザーズ・マニュアルに従って製品のセットアップ或は調整をしてください。本ユーザーズ・マニュアル以外の方法或はプログラムを使用しないでください。本ユーザーズ・マニュアル以外の方法或はプログラムで本製品を調整或は使用して予期せぬ状況が発生した場合は、電源コードを引抜いた上で当社関係の技術サービス員に連絡して処理してください。
 - 製品に衝撃を与えたり製品を落としケースが破損した時。

電源コード及び信号ケーブル

1. 電源コード及び信号ケーブルの上に物を置かないでください。
2. 電源コード及び信号ケーブルは、踏みつけないように人の歩く場所には設置しないでください。
3. 本製品にはアース付3線プラグを備えています。このプラグは安全を考慮したもので、アース付電源ソケットにのみ使用できます。プラグをソケットに差込む事ができない場合は、電気技師に相談してソケットを変換して必ずアース付3線プラグを使用してください。使用地域の電圧が 220V-240V AC の時は、中継型ソケット電源コードを配置し、その入力側を 230V AC にしてください。電源コードは安全認証機構の認証をパスしたものを使用してください。
4. ソケット及び電源コードのオーバーロードは避けてください。
5. 本製品の電源コードや信号ケーブルを湿気の多いところに設置しないでください。

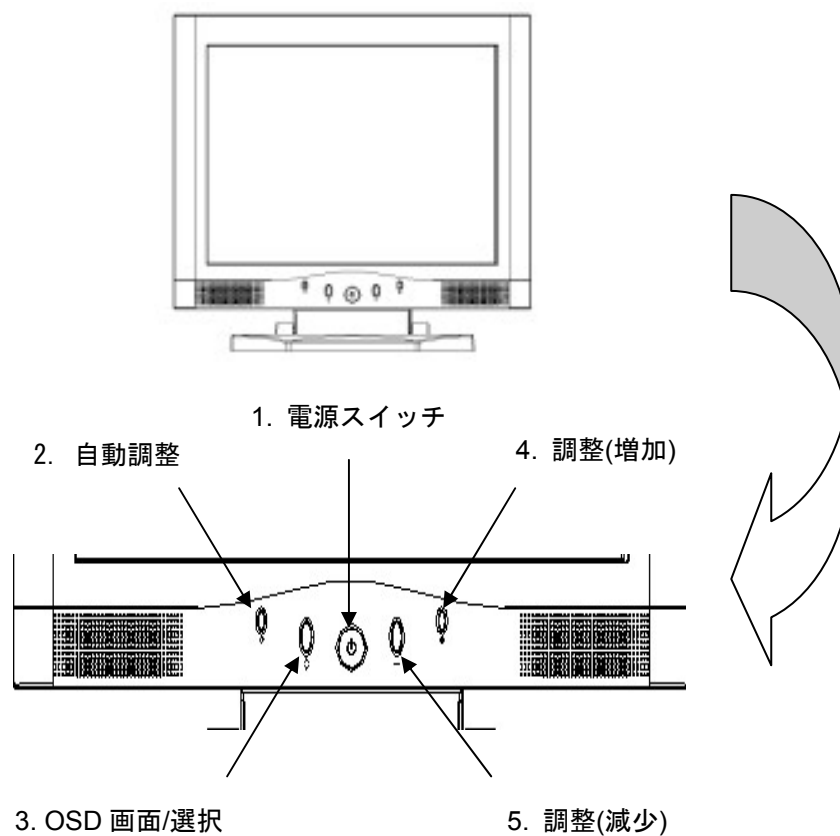
使用環境

1. 本製品を不安定なカート、架台やテーブルの上に設置しないでください。落下すると大きな破損を招きます。
2. 本製品は通風の良い場所に設置してください。
3. 本製品を次の様な場所には設置しないでください：熱過ぎる場所、冷たい場所、或は湿気の多い場所、直射日光が当たる場所、塵埃の多い場所、及び強烈な磁場を出す設備の近く。

二. 使用説明

OSD ボタン

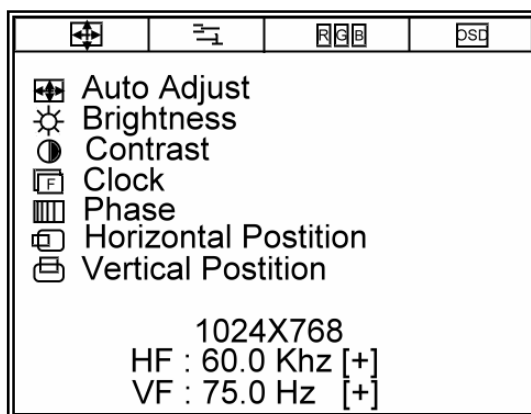
正面図：





1. 電源スイッチ：モニタ電源ランプ。オンの時、ランプは緑色、黄色いランプの時は睡眠モードに進入。
2. 自動調整
3. OSD 画面/選択：OSD 画面の呼出と OSD 調整項目の選択
4. 調整(増加 +)：OSD 調整(数値増加)
5. 調整(減少 -)：OSD 調整(数値減少)


OSD 使用画面の説明


モニタ画面の調整 :





 自動調整 (Auto Adjust) : 自動設定を選ぶとモニタを最適の状態にします (画面に干渉が有る時)。


 輝度 (Brightness) 調整 : <+> 又は <-> を使用して輝度を最適に調整。

 コントラスト (Contrast) 調整 : <+> 又は <-> を使用してコントラストを最適に調整。

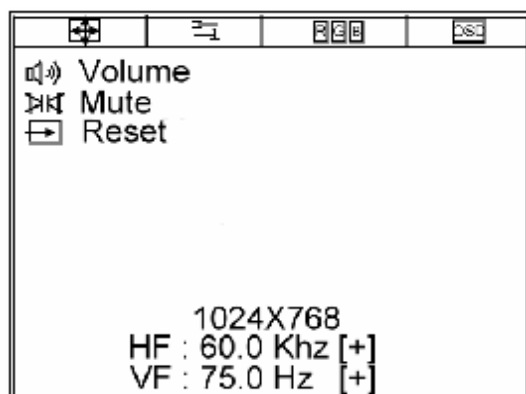
 クロック (Clock) : <+> 又は <-> を使用してクロックを最適に調整。


 位相 (Phase) : <+> 又は <-> を使用して焦点及び鮮明度を調整。


 画面水平位置 (Horizontal Position) : <+> は画面位置を右へ、
<-> は画面位置を左へ移行します。


 画面垂直位置 (Vertical Position) : <+> は画面位置を上へ、
<-> は画面位置を下へ移行します。

≡ 信号入出力の選択画面 :

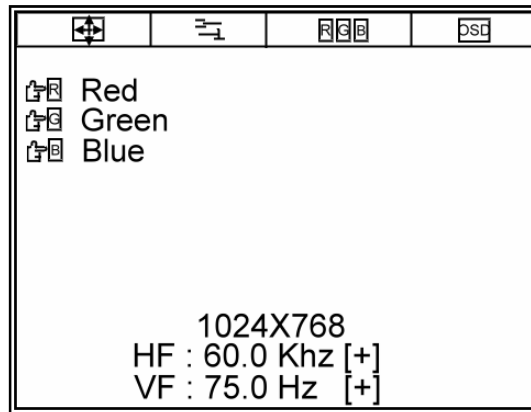





 ボリューム (Volume) : <+>又は<->を使用してボリュームを調整。

 無声 (Mute) : 無声機能。

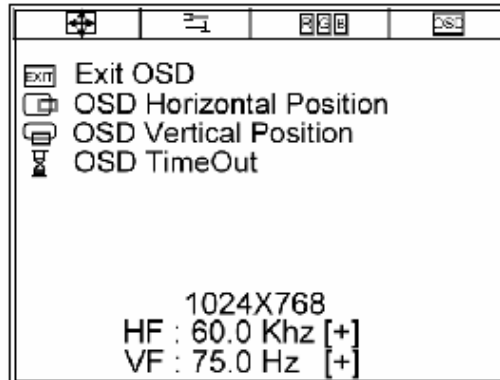
 リセット (Reset) : 設定値を工場出荷時のものに戻します。


RGB カラー調整画面 :



-  赤 (Red) : 赤色ディスプレイ強度の調整。
-  緑 (Green) : 緑色ディスプレイ強度の調整。
-  青 (Blue) : 青色ディスプレイ強度の調整。

OSD 設定の画面 :




 終了 (Exit OSD) : OSD コントロール画面を閉じる。

 OSD 画面水平位置 (OSD Horizontal Position) :

<+> は OSD 画面位置を右へ、<-> は OSD 画面位置を左へ移行します。

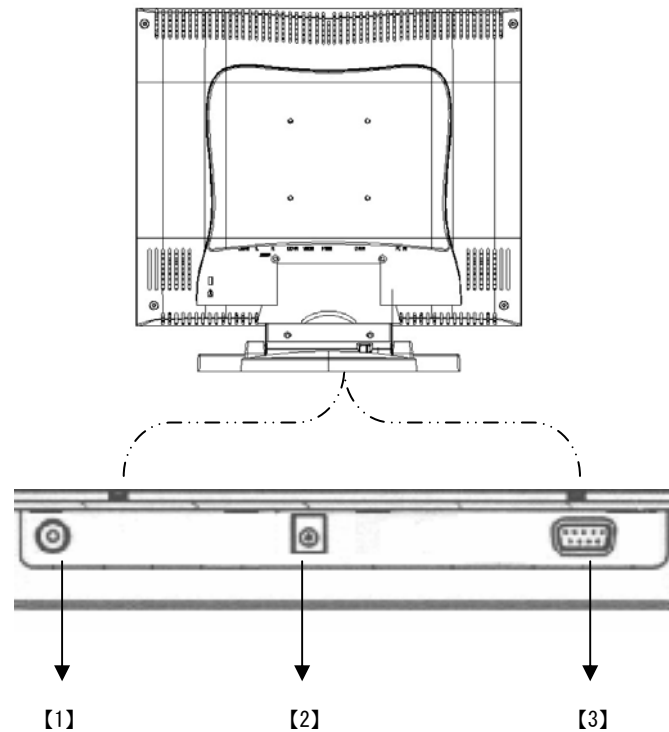
 OSD 画面垂直位置 (OSD Vertical Position) :

<+> は OSD 画面位置を上へ、<-> は OSD 画面位置を下へ移行します。

 OSD タイムアウト (OSD Timeout) : OSD タイムアウトを設定します。

三. 信号コネクタとコネクタの説明

入力の説明



- 【1】 オーディオ入力(LINE IN) : 入力端子(Stereo Phone Jacket コネクタ)。
- 【2】 電源入力(DC IN) : 直流電源入力ソケット
- 【3】 VGA 信号入力(PC IN) : コンピュータ VGA D-Sub 信号入力コネクタに接続。

セットアップの説明

電源の接続

下記インストラクションに従って LCD 電源を接続してください。

1. 電源コードのメス部分を変圧器に接続し、電源コードのオス部分をアウトレットに差込みます。
2. 変圧器のコネクタと LCD を接続します。変圧器接続用のコネクタは本製品背面の VGA 信号を接続する場所の近くにあります。

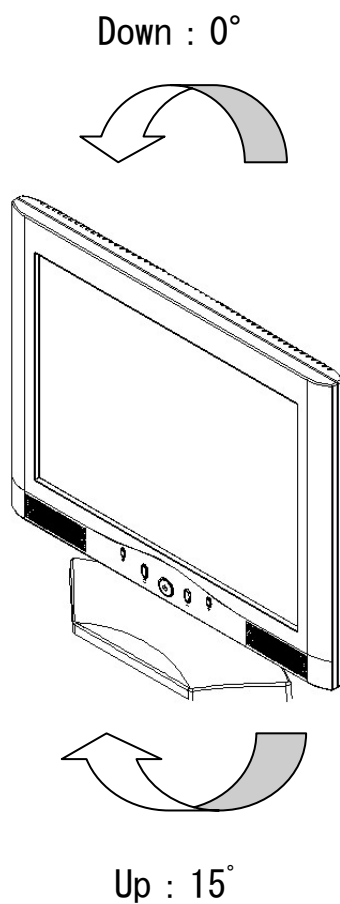
信号の接続

1. 信号ケーブルを LCD モニタ及びコンピュータに接続する前に、LCD モニタ及びコンピュータ電源スイッチを切ってください。
2. 製品包装箱内にある VGA 信号ケーブルを LCD モニタ背面の信号ケーブル接続孔に接続します。
3. 信号ケーブルの別の端をコンピュータ背面の VGA 信号コネクタに接続します。
4. 信号ケーブルとコンピュータ或は LCD モニタが固く接続されている事を確認してください。信号ケーブル・コネクタの固定具を固く締めてください。
5. コンピュータと LCD モニタの電源を入れてください。
6. LCD モニタはコンピュータと繋いでから、コンピュータの VGA CARD は 75Hz を設定して下さい。
7. 75Hz を設定してから、画面は良く出来る様に OSD の Auto Adjust を設定して下さい。

***注意：接続している電源コードや信号ケーブルを引き抜く時は、電線を破損しない為に、コネクタの頭の部分を掴んで引き抜いてください。**

四. 旋廻角度

使用時の利便性を考え本製品には、LCD モニタを旋廻させる機能があります。
旋廻は前に 0°、後に 15° 傾ける事ができます。



五. 製品規格表

各製品規格は次のとおりです：

規格	型番
LCD ディスプレイ	15 インチアクティブ・マトリックス TFT 液晶ディスプレイ
ディスプレイ・サイズ	0.297(水平)x0.297(垂直)mm
最大解像度	1024(水平)x768(垂直)XGA
本体寸法	375(幅)x353(高さ)x188(奥行) mm
包装寸法	460(幅)x450.1(高さ)x235(奥行) mm
信号入力 ビデオ	アナログ RGB 0.7Vp-p(ピークからピーク)
シンクロ	TTL ポジティブ又はネガティブ
ディスプレイ・モード	VGA、SVGA、XGA
オーディオ入力端子	Phone jack
信号コネクタ	D-sub ミニ 15 ピンコネクタ
フロント・パネル コントロール	電源コントロール・スイッチ、LED 指示灯、 OSD 選択、+/-調整ボタン、自動調整
OSD 調整項目	自動調整、輝度、コントラスト、クロック、位相、 水平/垂直位置、ボリューム、無声、リセット、 R、G、B、OSD 画面水平/垂直位置、OSD タイムアウト
電源変圧器	交流電力入力：100~240V-1.8A、 50-60Hz 直流電力入力：12V/4.0A
使用環境	温度：0℃~45℃ 湿度：20%~80%
保管環境	温度：-20℃~60℃ 湿度：10%~80%
準拠規格	CE, FCC, UL, TUV, VCCI, CSA
重量	正味重量：3.5kgs、総重量：5.5kgs

六. イスプレイ・モード

製品工場出荷時の設定値は次のとおりです：

モード	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (KHz)
1	640x400	24.823	56.416
2	640x480	31.469	59.940
3	640x480	37.861	72.809
4	640x480	37.500	75.000
5	720x400	31.469	70.087
6	800x600	35.156	56.250
7	800x600	37.879	60.317
8	800x600	48.077	72.188
9	800x600	46.875	75.000
10	1024x768	48.363	60.004
11	1024x768	56.476	70.069
12	1024x768	60.023	75.029

七. 製品保証の説明

アフターサービス

ユーザーは製品購入後ポリロンの包装材料を保管し、アフターサービスに送るとき使用して製品を安全性を確保してください。



保証範囲に含まれないものの概要

- 使用の不注意或はエラーの為に起こした不良および破損。
- 附属の製品説明書に従わず使用した場合の不良および破損。
- 自身で製品を分解した場合の不良および破損。
- 火災、水害、落雷及びその他不可抗力要素による不良および破損。
- 不当な搬送で受けた不良および破損。




**安全にお使いいただくために
必ずお守り下さい**

本製品は正しく取り扱うことにより安全にお使いいただけます。まちがった使い方は、火災や感電による人身事故、財産への損害につながる可能性があります。このような事故を未然に防ぐために、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに予想される事故の大きさによって2段階に表示しています。

	警告	この表示の注意事項を守らなかった場合、 死亡または重傷を負う可能性 があることを示しています。
	注意	この表示の注意事項を守らなかった場合、 傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性 があることを示しています。

- お守りいただく内容の種類を、次のような絵表示で説明しています。(絵表示は一例)

	このような表示は、気をつけていただきたい【 注意喚起 】内容です。
	このような表示は、してはいけない【 禁止 】内容です。
	このような表示は、必ず実行していただく【 強制 】内容です。



警告

	<p>電源プラグは根元まで確実に差し込む。 差込が不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。 傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないで下さい。</p>
	<p>不安定な場所に置かない 落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因になります。</p> <p>禁止</p>
	<p>落したり、ぶついたりしない。 衝撃により感電や火災の原因になります。</p> <p>禁止</p>
	<p>コンセントや配線器具は定格 (AC100V) を超えて使用しない。 定格を超えると、発熱による火災の原因になります。</p> <p>禁止</p>
	<p>故障（画面が映らない、煙が出る、異臭・異音がする）のときは電源プラグを抜く。 そのまま使用しますと火災の原因になります。 電源プラグをコンセントから抜き、販売代理店にご相談下さい。お客様による修理は危険ですので、おやめください。</p> <p>電源プラグを抜く</p>
	<p>ぬらしたり、お風呂場では使用しない。 感電や火災の原因になります。</p> <p>水場使用 禁止</p>
	<p>金属類または燃えやすいものを製品の中に入れてない。 感電や火災の原因になります。</p> <p>禁止</p>
	<p>雷が鳴り出したら電源コード、電源プラグ、信号ケーブル、本機などには触れない。 感電の原因になります。</p> <p>接触禁止</p>










警告

	電源プラグのほこり等は定期的にとる。
	プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。
	電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
	改造、分解、修理をしない。
分解禁止	内部には電圧の高い部分があり、感電、けがの原因になります。
	電源プラグを抜くときは必ずプラグをもって抜く。
	コードが破損して感電や火災の原因になります。
	破損した液晶（液体状）を吸い込んだり、口に入れない。
禁止	中毒の原因になります。
	口に入った場合は、口を水ですすいでいただき、医師にご相談下さい。
	電源コードや電源プラグを破損するようなことはしない。（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、重い物をのせたり、束ねたりしない。）傷んだまま使用すると感電・ショート・火災の原因になります。
禁止	
	ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない。
禁止	感電の原因になります。



注意

	<p>液晶パネル面を固いものでつついたり、引っかいたりなどの衝撃を加えない。</p>
禁止	破損してけがの原因になります。
	<p>湿気やほこりの多い所、油煙や湯気があたるような所には置かない。 調理台や加湿器のそばに置きますと、感電や火災の原因になります。</p>
禁止	
	<p>本機の角度調整を行う場合は、ゆっくりと動かす。 転倒してけがの原因になることがあります。</p>
	<p>本機を移動させるときは、電源プラグや信号ケーブルは必ず外す。</p>
電源プラグ を抜く	破損して感電や火災の原因になります。
	<p>旅行などで長期間使わないときは、電源プラグをコンセントから抜く。</p>
電源プラグ を抜く	電源プラグにほこりがたまり、火災や感電の原因になります。
	<p>お手入れの際は、安全のために電源プラグをコンセントから抜く。</p>
電源プラグ を抜く	感電の原因になります。
	<p>キャビネットの通風孔をふさがない。</p>
禁止	<p>内部に熱がこもり、故障や火災の原因になりますので次の点にご注意ください。</p> <ul style="list-style-type: none">● 本箱、押入れなどの風通しが悪く狭いところに置かないで下さい。● あお向けや横倒し、逆さまにしないでください。